

KOBE DRIVING School

教習コースで春の交通安全運動を



上段左より/受けに向うママさんバイク。審査区民大会において選手宣誓が。慎重に安全走行を競います。
下段/兵庫県警交通機動隊によるアクロバットの数々。

建築家の間でも話題を呼ぶ、ハイセンスで近代的な校舎を持つ KOBE DRIVING SCHOOL (神戸自動車学院株式会社)。教習、運営、レクリエーション、いずれにおいても、最新システムを導入し、完璧なドライビングテクニクが習得できる、アカデミックドライブスクールである。

春の全国交通安全運動の一環行事として、4月13日、KOBE DRIVING SCHOOLでは、「ママさん原付講習審査区民大会」が、兵庫県警主催で開かれた。当日は、石田靖夫北区区長、村岡克北区警察署署長、林肅一交通安全協会会長、難波次男家用自動車協会会長、石田敏子北区婦人連合会会長と婦人部100名が出席。開会式を終え、各出席者が訓示を述べた後、婦人部原付模範走行競技会が開始された。これは、婦人部100名それぞれの原付走行を、プロの二輪指導員が減点方式で採点し、安全性を競うもの。二輪事故対策運動として、県の発案で実施されたこの競技会、100名のご婦人方は「基本ルール」と「慎重さ」を、十分に確認したようだ。

競技会後は、兵庫県警交通機動隊によるアトラクション、白バイ(750cc)10台、隊員20名を使用したアクロバットが披露され、スリル満点の、夢の走行に会場からは、思わずため息が。

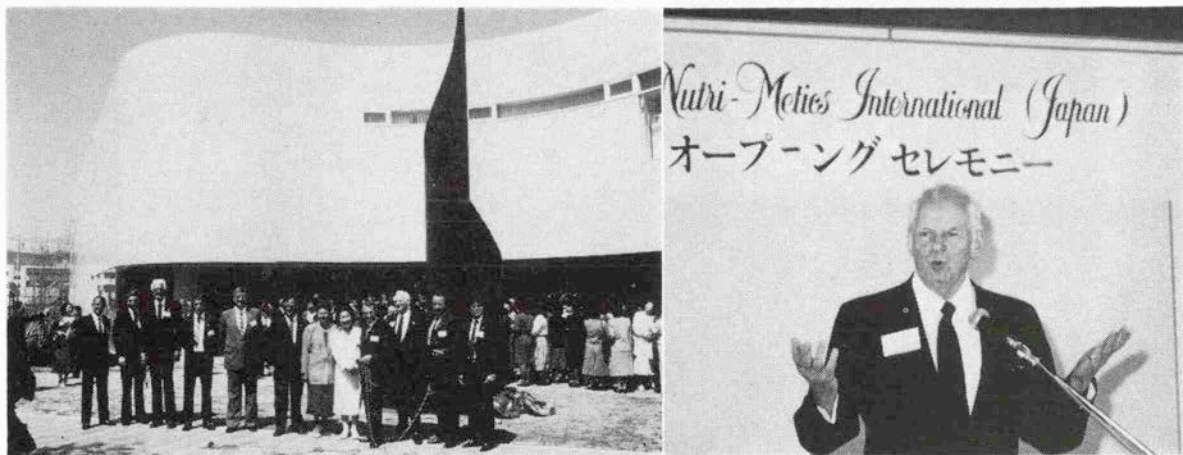
兵庫県警の、春の交通安全運動に役果たした KOBE DRIVING SCHOOL であるが、武田繁次学院長も、「地元の方には普段、お世話になってるので、少しでもお返しができるべし」と、終始催しを熱心に見学し、安全走行の実態を再認識していた様子。

□ KOBE DRIVING SCHOOL (株式会社神戸自動車学院)

〒651-12 神戸市北区緑町3丁目6-1
☎(078)581-1207

ヌートリ・メティックスインターナショナル(ジャパン)

ファッションタウンに、外資系化粧品商社が



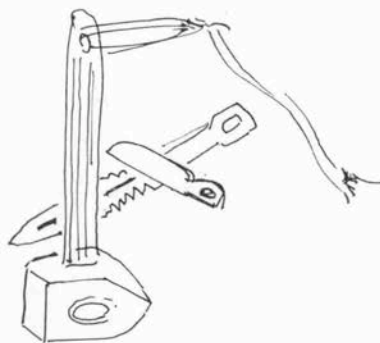
左/モニュメントの映える新社屋前で、海外支店代表の面々。右/創立者であり現社長マルフォードJ・ノブス氏による神戸へのメッセージが。

神戸ポートアイランドに、初の外資系化粧品商社ヌートリ・メティックスインターナショナル(ジャパン)株式会社が生誕した。

4月6日、正午、ポートアイランドに建設されたヌートリ・メティックスインターナショナル(ジャパン)新社屋では、オープニングのセレモニー、およびオープニングパーティーが開催され、約200名が集った。今回の新築にともない、日本支社を、福岡市より神戸市に大移動、訪問販売化粧品の国際的企業として、ファッション都市KOBEBEの中心となるポートアイランドに夢を託したわけである。鬼塚喜八郎(株)アシックス社長、木口衛(株)ワールド会長、林宏子(株)シヤルレ常務をはじめ、神戸各界の代表が、海外からは、ヌートリ・メティックスインターナショナル創立者、社長(USA) Mr. M. J. ノブス、オーストラリア社長 Mr. W. ローチ、ニージーランド総支配人 Mr. C. ロリガン、マニユファクチャラーズ Ltd 社長 Mr. J. バンクス、シンガポール総支配人 Mr. C. タンらが出席、インターナショナルな幕明けとなる。

ヌートリ・メティックスインターナショナル(ジャパン)株式会社は、アメリカ合衆国内で、栄養補足食品とスキンケア製品を扱う会社として最も古い歴史をもつ、ヌートリ・メティックスインターナショナルの日本支社で、本社は、アメリカのカリフォルニア州に位置する。栄養豊富な自然の植物によって作られたスキンケア、美容用品をもとに、創立者、現社長マルフォードJ・ノブス氏が抱く、人類の長寿に対する夢を世界に広めている。経営理念は、「To Help People Help Other People」「奉仕こそは世界を結ぶ」である。

□ヌートリ・メティックスインターナショナル(ジャパン)神戸市中央区港島中町2丁目3番6号 電話3021-0768



スポーツリレーエッセイ

〈Ⅵ〉

登山は スポーツでもなく 道楽でもない!



絵と文

吉田義武

〔地〕神戸市民文化振興財団勤務
神戸市役所山岳部幹事
神戸・日本ブライタン友好協会幹事

私は登山はスポーツとは思っていない。これは冒険の分野に入れるものと思う。ヨットで世界一周するとか、ヘインのようにシルクロードを進むとか、河口慧河のチベット潜入とか、または、役の小角の大峯山、播隆和上の、槍ヶ岳、円空の旅のように宗教的であるのかも知れない。これ等深入りすると命を失なうかも知れないと行動しているのではないか、またはそれを超越をしている者のみが生きているのかも知れない。それにしてもいかに多くの人が命を落としていることか、登山とはそのようなものである。これを勝ち負けで決着をきめるスポーツといえるのだろうか。

先輩が言う、登山とは道楽である。昔、遊廓に登楼する、あれである。すぐ抱かせていただけると思いきや、色々と約束ごとがあり、その上沢山のお金を取られ、あげくの果てには鼻が落ち、女房には逃られ、親兄弟を泣せ、身代を潰し、はては敵娼と心中するなんてのは格好のいい方で、大方は一人寂しく消えてしまうのである。これも登山も一緒に、女性か山か、夜か昼かの違いで油断

をすれば落ちて行くパターンはまったく同じである。続けて言う。新聞等でどここの隊はヒマラヤの何々山を征服したなんて見出が出るが、征服とはとんでもない話で、抱かしてもらったぐらいが関の山、抱けば火傷ではなく凍傷でもおこしかねないね!! まったくである。

昔、岩登りで秋北岳のバットレスを登っていた。カッコイイ青年が可愛い女の子を伴って先行している。女の子は可愛い顔に似ず技術は下手、あんのじょう私のパートナーの頭に岩を落した。ヘルメットは破れ、頭に血がにじんでいる。可愛いのが落石の音にびっくり、「Aさーん!! 岩を落しちゃった」。その上から「君!! 大丈夫」。じょーだんじゃない、その下にいるのであるぞ。夏山縦走路を見るがいい、流行の登山服に身を固め、美声で「エーデルワイス」なんかを歌っているのが、ヘッチャラで石を谷へ落すのである。それどころか足で石を蹴っているのがある、見えないところに意識がない、岩稜に岩が砕ける音とともに悲鳴をあげる声が聞えるであろう、クライ

マーの叫び声である。やっつけられる顔がわかれば死んでも化けて出られるが、晴天の霹靂ではあきらめきれない。だから岩登りはやめてしまった。

岩が駄目となれば、あとは冬山である、これは五十を過ぎた私には大変きつい、少ない荷物でも行ける、山小屋の開いている山は数少ない、一人でテント、炊事道具一式を持つことはもう出来るはずがない。山岳部の若者について行く、これがまた大変、頭と口は冴えているが、足の方が反比例、テント場まで二山ぐら^{ふたやま}いは離されている。汗とか雪で濡れた肌着も昔は一晚の体温で乾かしていたが、もうそのエネルギーも失せてしまった。このむなしさ、悲しさ、もう来年からは炬燵で寝る!!

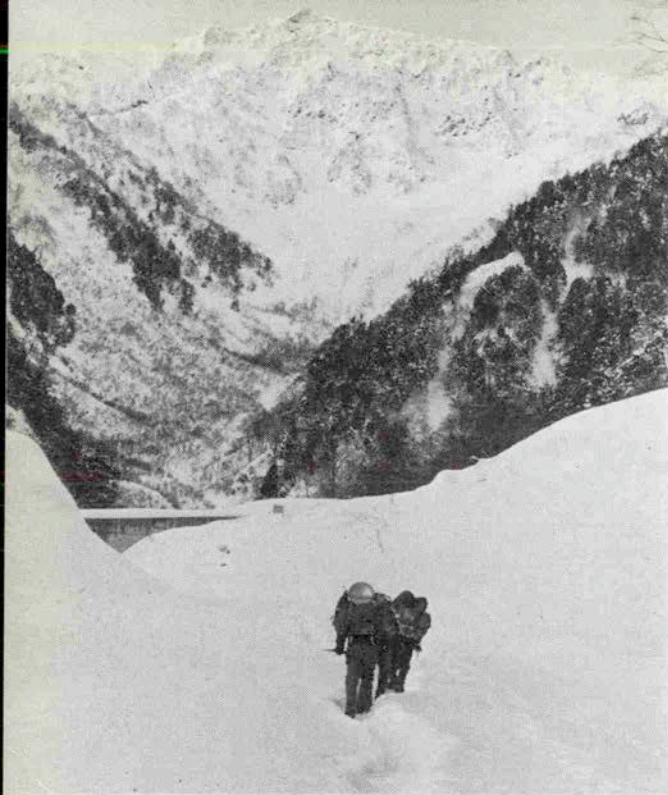
ブータンの山へ登らないか、とさそいがあった。遠征隊を出したので、手伝ってくれないか

まだ見ぬ国であり山々である。古本屋を漁ってブータンと名の付く本は皆買い集め、皆さんに聞かれれば人文地理のすみずみまでくわしく説明出来る^{出来る}と信じている。続けて言う「わい等もう年やからベース・キャンプまでなら行けるやろから、頂上は若い人にまかして、それでいいやないか」隣から言われて気がついた。もう私は頂上に登るつもりでいることを。

山へ登る人はいつも夢を見ているのかも知れない。それは登山だけでなく、いろいろな仕事の面でも、夢が少しでも実現するように実現させたいと考えているのではないか、吹雪で荒れる稜線を歩いたではないか、遭難を起こした時、見ず知らずの人々まで、皆んなで暖かく助けてくれたではないか。それにくらべれば今の仕事なんかたいした事ではないと考えてしまう。

先輩が言う。「山へ登る人間なんか奇人、変人と思っている人が多いが、これを他人に理解させることは無理なことだ、そのような人々同志で世間を見おろし肩を寄せていればいいのだ、われわれは、お金では計れないものを持って文明、文化を切り開いているのだから」もうこうなればスポーツでもなく、道楽でもない^{道楽}と結論を下した。私はA B型である。どうもB型の頭で書いたような気がする。機会があれば次はA型で書きたい。編集の方をなやますであろう。

(神戸・日本ブータン友好協会では、今秋、ブータンへのトレッキングを予定している。)



冬の後立山に挑む

● Look Sports ●

バスケットボール

★日本リーグ20回記念

国際バスケットボール神戸大会

5月3日(祝)14:00

(女)韓国vsユニチカ

(男)スウェーデンvs日本鋼管

(於)神戸市立中央体育館

□特別 ¥3,500 (¥3,000) 一般
¥2,500 (¥2,000) 高校 ¥1,
300 (¥1,000) 中学 ¥1,000
0 (¥700) 小学 ¥600 (¥500)

サッカー

★日中親善ジュニアサッカー

5月3日(祝)14:00

オール中国vs地元選抜

(於)神戸中央球技場

□無料

アメリカンフットボール

★西日本アメリカンフットボール

選手権大会・準々決勝

5月10日(土)14:00

(於)神戸中央球技場

5月11日(日)14:00

(於)神戸総合運動公園

□一般 ¥600 (¥500)

□ 高校 ¥300 (¥200)

小学生以下無料

体操

★西日本インカレ

5月21日(水)~25日(日)

(於)県立総合体育館

陸上競技

★国際市民ロードレース大会

5月17日(土)15:00

1・2部10km(男女)

3・4部5km(男女)

(於)ポर्टアイランド

資料提供/神戸市教育委員会 スポーツイベ
ント推進本部 ☎333214859

■見もの・見どころ

日本リーグ20回記念国際 バスケットボール大会



日本リーグ
開催20年記念
の、この大会
はいずれも日
本リーグ上位
の単独チーム
と韓国、スウェーデン、チエコの
ナショナルチームとの対戦とな
る。2週にわたり近畿、東海、関
東の各ブロックを回るもので、大
会のトップを飾る神戸での試合に
は関係者の期待も大きい。

ユニチカ、日本鋼管ともに永年
リーグ一部で活躍している伝統あ
るチーム。対する韓国、スウェー
デンは日本での試合は珍しく'88ソ
ウルでの展望も含めて、どのよう
なプレーが見られるか楽しみだ。

●Sports Shop Selection

インパック 神戸トアロード店



アロード店長
ファイラ・ブ
ランドのワン
ランドのワン
ショップ。テ
ニス、ゴルフ、
スキーの各ウ
エアに加えて

ウエストバックや帽子などの小物
までズラリと揃う。トレードマー
クのトリコロールに加えて最近で
は流行を取り入れて、バステルカラ
ーやアースカラーの商品もある。
オリジナルとしてインパック・
スペシャルも順次創り出す予定。
また全国インパックチェーンで使
えるカードもあり、各種イベント
に無料で参加できる。

□インパック中央区北長狭通3-12-15 日
経ビル2F

☎39210131

□著者とのひととき

二十一世紀の神戸を語る石井 一さん

このほど前衆議院議員の石井一さんが『二十一世紀・神戸未来物語』を出版された。全四部構成でイラストもふんだんに入り、平易な文章で神戸の未来が興味深く書かれている。著者の石井さんに、この本の狙いなどをお聞きした。

私が二年前、十五年間の国会生活から一転して浪々の身となり、故郷・神戸に戻り、この機に神戸の街を隈なく歩きまして、ハッとさせられることが多くありました。非常に明るい部分、神戸の発展している部分に目がきました



自著を語る石井一さん

ナーシティーの対策が要求されている時期です。国際都市とかコンベンション都市、流通産業都市をめざすには、神戸に空港がまず不可欠です。公害のない近代的産業の誘致、六甲アイランド等、さまざまな分野の問題があります。これを市民に理

が、その反面で、取り残されて老朽化した部分が残っています。ですから、今神戸は一つの大きな岐路に立っているのではないかと思えます。今後このターニングポイントからいい方向に進めば、この本に書いた「神戸の未来」というものが開かれるのではないでしょう。それは政治、行政、教育など様々な分野での対応が必要とされます。この本は単なる夢物語としてではなく、一つの警告として読んでいただきたいと思えます。

今、時代が急激に変わってきており、神戸の場合経済力の落ち込み、人口の減少、高齢化問題、活力の減退が目立ってきています。これに対して、一つの画期的なイン

解しやすいように夢を持たせながら、絵などをたくさん入れました。実は第一部を最後に書いたわけなんです。ここでは、四十年後の二〇二五年を想定し、大胆に市民の生活の一日を描いてみました。

第二部、第三部では、やや政治、政策的な問題を取り上げています。

この本に書いてますように、神戸は非常にいい特徴を持っている街ですね。国際性であるとか、時代を先取りするという市民の性格が、北野町界隈の賑わい、ポートアイランドの発展に反映しているのではないのでしょうか。反面、土地が狭いという不利な点もありますが、有利な条件を活かしていくと、神戸という街は二十一世紀には、日本で最も世界に通じる街、人も物も情報もすべてここを通して日本列島へ広がっていく。というのが一番理想的ですが、そういう風になりうる潜在力は充分あると思います。

今、神戸市は、人口別では全国で第七番目になっていますが、私のできない経済的な分野で、皆さんにもっと頑張っていたきたいと願っています。また明日の神戸をになう若い人たちに、わが街は捨てたもんじゃないということ、この本の中でアピールできればと思っております。

神戸家具で知られた
ハイカラ家具を、ひとつ
ひとつ手づくりして
明治5年の創業!
お店の中を、ぐるりと
みせて
もらうだけ目
のごちそう。インテリア
小冊子にも、いろいろが
あります...

- 欧風家具・永田良介商店
- 電器・東亜商会
- 婦人用品・リバー商会
- 阪本漢法製衣葎
- オートクチュールカセット
- 喫茶ルカアイボリー
- 時計・宝石の岩見屋
- キントシヨップみやま
- アベック装苑
- (E) 阪神ビューティサロン

- 紳士・婦人帽子・神戸屋
- フテックサンシヨミヤ
- 藤田歯科(2F)
- 創作モノの
小物・かんざし
- 早茶のやま
- 香山製電気部
- 大茶のやま
- (2F) 加藤手芸工芸店
- (3F) 柱末生流生花教室
- 神戸船舶・青木内科外科
- ウィン菓子・モーツアルト

居留地記念碑

明治時代、外国人の
窟。このあたりに、あ
た、居留地を区画
設計した英国人
J.W.ハートの設計
図 銅板が埋め
こまれています。

音楽とみ 菓子の都
ウィーンの都
田舎



大丸 ●

ロンドン製のがス火丁



大人の
落着
かた
表い
下
まい
に
い
に

明治元年、イリス
の居留地警備兵と
岡山藩士が衝突した
神戸事件発生の地
石鼻と大丸がある



● 三宮神社 生田の斎神
八社のひとつで、湍津姫命を
おまつりなされてゐる。

TOP ROAD
ト・ア・ロード

● 三菱銀行

海岸通り入

欧風家具・設計・施工

永田良介商店

TEL 391-3737~9

Culture Cassette
カセット

TEL 391-4992

神戸シャリ

TEL 331-2168

服部メガネ

TEL 331-1123

たけし画廊

大丸前KK服部 2F
TEL 332-0733

ヨシオカ

TEL 331-5190

serizawa
KOBÉ



婦人服飾 TEL 331-1695
紳士服飾 TEL 331-3900

真珠・宝飾品のある小さな並木道

PEARL, JEWELS

W.F. SCHULZ
シュールツ宝石店
1907 SWISS

TEL 331-2402

日東館書林

TEL 391-8701

COUTURE
LA SENNE

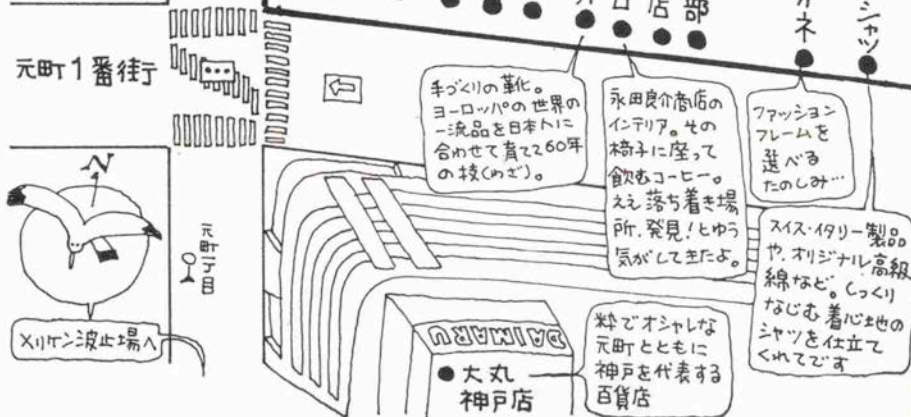
TEL 331-3654

エレガントな散歩道



DAIMARU KOBÉ.

TEL 331-8121



うん
頑張つとる

★神戸を福祉の街に

うん
頑張つとる
— 啓発8ミリ映画が完成



橋本 明
〈社団法人家庭養護
促進協会事務局長〉

ダウン症という智恵おくれの青年がゴム工場で生き生きと働く姿を描いた8ミリ映画がこの春完成した。

制作者は神戸小型映画友の会の会員で神戸市職員の松本一郎さん(57歳)。松本さんは8ミリ歴20数年のキャリアがあり、日本国内はもちろん、海外の国際コンクールでも数々の賞を受賞したベテランの8ミリ映画作家である。完成した作品のタイトルは「うん、頑張つとる」でこれはこの映画の主人公である堀部紀貴さん(32)の口グセを題名にしたという。完成したフィルムは神戸市教育会館での試写会の席で「誕生日ありがとう運動」に寄贈された。

松本さんは昭和57年に制作された「小さな輪・大きな輪」という誕生日ありがとう運動が進めている啓発映画の撮影ボランティアの一人でもあり、この運動を通して智恵おくれの人たちの問題には以前から関心があり、この運動の機関紙で、ホテイ護謨株式会社(長田区細田町で働く障害者と、障害者を積極的に雇用してきた会社の精神に心をひかれ、「一人でも多くの人たちに智恵おくれの人たちのことを知ってもらえたら」と考えて映画づくりを思いついた。

堀部さんは神戸市立立丸山学園に入園し、昭和45年に神戸市立青陽養護学校を卒業と同時にホテイ護謨株式会社に入社。それ以来16年間無遅刻、無欠勤で製靴作業に打ちこんできた。風邪をひいても休んだことがなく、スト

ライキで電車が動かない時は歩いて通勤してきたというエピソードもある。「みんなといっしょに仕事ができるから楽しい」という堀部さんの手は堅くゴシゴシとしている。16年間靴づくりで打ちこんできた職人の手のようである。

ホテイ護謨株式会社は創業67年のファッションシューズ製造会社で昭和44年から毎年一人ぐらいつつ養護学校卒業生を採用しており、現在12人の障害者が働いている他、10名のベトナム難民も受け入れている。「利潤の追求だけでなく、ともに生きるための人間性の調和」が三木公輔社長をはじめ、会社全体の経営理念ということである。

同運動顧問の松前敏彦氏は「実業界の競争のはげしい世界で」とともに生きる」という理念を実践していただいていることは大変うれしい。福祉の世界だけでなく、政治や経済の世界でもこの理念を生かしていくのがこの運動の目的です」と撮影への会社の協力にお礼をのべた。

撮影の計画から編集にいたる作業はすべて松本さんが個人ですすめ、制作費も一切を松本さんが負担した。クランクインは昨年の三月で、この会社で働く堀部さんを主人公にプランが練られ、撮影は堀部さんの家族とホテイ護謨会社の全面的な協力が進められた。まずフィルムは堀部さんの大好きな大相撲春場所の観覧から回りはじめ、家庭での生活の様子、朝家を出て電車での通勤、会

社で仲間といっしょに働く姿、夕方帰宅後父親や近所の子どもたちとキャッチボールをして遊んでいる姿などが柔らかなトーンで描かれている。撮影は松本さんと堀部さんの休日を利用して行なわれ、会社での撮影には職場の仲間たちもみんなが応援し、出演に協力を惜しまなかった。

撮影したフィルムは約五時間半にもなり、編集で23分にまとめられ、ナレーションは朗読ボランティア「くすのきグループ」の重松明子さんが吹きこんだ。

制作を終えて松本さんは「音を入れるのに現場での音を使ったので編集に苦労をしたのと、ナレーションで何気なく使う言葉に気を使った」ぐらいで、さほどの特別な苦労といったものはなかったという。

百人を超える人たちがつめかけた試写会の会場で、松



本さんから誕生日ありがとう運動と堀部さんへフィルムとビデオカセットが贈呈され、同運動からは松本さんへ感謝状が贈られた。松本さん自身の手で上映されたこの作品に、試写会終了後さっそく貸出しの希望が続いていた。

「うん、頑張ってる」は8ミリとビデオカセット（VHSとベーター）があるので貸出し希望者は左記へ申し込んで下さい。無料。

☆「誕生日ありがとう運動」本部

〒650 神戸市中央区御幸通八―一六。神戸国際会館

一階。電話（二五一）八一六一内線三一六。

上/百人を超える人たちがつめかけた試写会場、中/「うん 頑張ってる」の一コマから
下右/映写の準備をする制作者の松本さん、下左/試写会で丸山学園時代の恩師から花束を贈られる堀部さん、後ろはお父さん



湯の街

有馬歳時記

★わたしと有馬
時計を外すと
有馬の魅力が分る

新谷 英子（彫刻家）

私は有馬温泉とは随分と縁があるんです。有馬温泉の玄関口ともいえる「ゆけむり広場」。そこに有馬温泉ゆかりの人物・太閤秀吉像がありますが、このブロンズ像を私が造らせていただきました。それ以降、有馬温泉は私にとってすごく身近かに感じられるようになっていったんです。

私の子供の頃、周囲の年配の方や知り合いの方たちが、湯治を目的に、有馬温泉へ行くのを見に行くところだと思っていたんです。ところが今回のお仕事で縁で有馬温泉へ行くようになると、どうして今までにもっと行かなかったのか

と改めて感じました。

私にとっての有馬は、普段の忙しさから逃がれて、心身ともにリフレッシュする”とっておきの場所”です。そう、気分転換の場、ぶらぶら歩きを楽しむ場所だといえます。

有馬温泉全体がもっている空気といえますか、静かなたたずまいといえますか、全体の雰囲気、これが素敵なんです。雰囲気も広い意味で風景ですが、いわば膚から感じ取るもの。情緒、雰囲気、そぞろ歩き、ゆったりとした気分これが有馬温泉の持ち味です。

私は国内の温泉地だけではなくオーストリア郊外のバーデンバーデン、またはカリフォルニア郊外の温泉地などへも行ったことがあります。日本の場合、温泉というと昔から湯治という意味合いが強いのですが、外国の場合、レジャーという感じが強いですね。たとえばドライブの途中に寄ってみるとか。勿論、宿泊施設もあるので、大人の空間といえますか、カジノがあったり、プールがあったり、保養地なんですね。でも、日本でもそういう傾向が強くなっています。有馬温泉も最近では若い女性客が増えて来ているそうです

有馬の歴史を語り続ける「いで湯の宿」

銀水荘

別館 楽山

TEL (078) 904-0622

別館 光楽

TEL (078) 904-3656

静寂さにつつまれた
くつろぎの宿

国際観光旅館

陵楓閣

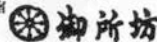
TEL (078) 904-0675
TELEX 5627-115

テニスでいい汗
いい湯にとっぶり
味に集う



TEL (078) 903-1024

木造りの宿



TEL (078) 904-0551

自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731



太閤秀吉像の前で新谷英子さん(右)

ね。気軽に楽しむレジャーになって来たのでしょうか。

話が温泉から外れますが、絵を描く姿勢も最近は変わって来ています。かつては文化の高揚だとか、芸術を極めようと、正に血の滲む努力をしていたのですが、今は、誰でもが軽い気持ちで、いわばフアッションとして絵を描くという風潮がありますね。勿論、絵の専門家とアマチュアとの違いということもあります。層が広がって行く反面、深味には欠けます。誰にでも出来ますよ、という反面、芸術の厳しさとか、何を追求するのかという姿勢が抜けてしまう。温泉についてもそういうところがあるのじゃないかと思えます。

若い人に温泉愛好者が増えているのはいいことなんですが、表面的なムードだけで流されるのではなく、本当の情緒ある味わいをぜひとも知って貰いたいですね。

温泉町自体も時代の流れとともに変化して来ていますが、有馬温泉はいつまでも浴衣と下駄ばきが似合う町であって欲しいですね。

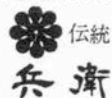
私は有馬温泉全体の雰囲気が好きですが、とくに古いたたずまいのある坂道(両側が商店になっています)、温泉寺への苔むした石段などに往時を偲んだりします。

春は善福寺のしだれ桜、夏は念仏寺の娑羅の花、秋は瑞宝寺跡公園の紅葉、そして冬は雪に炬燵にお湯と、まるで文字通りの観光案内ですが(笑)、有馬温泉の魅力は四季折々の表情が楽しめるということですね。

細い小路の奥にポカッと思い掛けない景色があったり、見る角度によって幾通りもの風景が楽しめるのも魅力です。地図を片手に歩くよりも、ぶらぶら歩きの似合う町、歩けば歩くほど街が広がって行くという感じですね。

有馬温泉のよさを知るには、時計を外してみる。そう言えるのではないのでしょうか。(談)

結婚式場を完備しています



伝統と格式を誇る

向陽閣

景勝高台の近代旅館

TEL (078) 904-0501代

欽山は典雅な
日本風の館です

国際観光旅館



TEL (078) 904-0701代

敷地内から湧き出る
日本最古の温泉「有馬温泉」

阪急ホテルチェーン

有馬ビューホテル

TEL (078) 904-2295代

温泉と演芸と遊技場

有馬ヘルスセンター

TEL (078) 904-2291

雅ただようくつろぎの館

中の坊 瑞苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーから御家族づれまで

有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

☆出会いの旅

歌と絵と踊りに
あふれた日々中島由夫
〈画家〉

もう今から二十三、四年前のことです。私はベトナム、インド、エジプトや中近東をヒッチハイクの旅をつづけておりました。毎日が見ること知ることすべてが驚きの連続でした。鉄道はお金のかわりに切手やスケッチで払いました。バスはお金を払わない人は外につかまり何日も何日もヨルダン、エジプトを通りぬけました。食事はなんでもたべられるものは口に入れました、イスタンブールに着いた時に人々の顔がヨーロッパ人に見えて来ました。その日その日の生活のため歌をうたったり、踊りをしたり、道路に絵を描きました。人がばかり集まり、お金はまったく集まりませんでした。イタリアに入ってもなく道路で描いていた時に、だれかがカチヤンとお金をなげました。そんなことが日に何度かあり、それをあつめると一本のパンとミルクが買えました。

ビネチャでは、フンデルド・ワツサーのアトリエでお世話になりました。フンデルが自分のアトリエが、パリより二〇〇キロ離れたノンギヤンの田舎にあると言うので、一週間もかりヒッチでこの農家のアトリエを見つけてきました。アトリエと言うより人が住めるような所ではありませんでしたが、となりの農家の人が私の家の仕事を手伝うならば生涯ここに住みなさいと言ってくれました。農家に生れた自分は子供の頃より牛のように畑、山仕事をさせられ、とうとう中学を出た年に実家に住むことやめて画家にならうと東京に出て来たからです。フラ

ンスまで来て今さら農家の仕事をするとは思いませんでした。数日後ヒッチでパリまで歩きました。ここは又見るもの見るもの芸術的なにおいがあり私は一気にパリ人にならうとつとめました。ボール紙、つづみ紙なんでも絵を描きモンパルナスの近くの空地にロープをはり展示しました。空地は見る見るうちに私のアブストラクトペンテングの展示場になり、旅行者がやたらによつて来ました。夕方になると酒場で歌ったり、又ハプニングがあったり、こんなことが数カ月間もつづき、このことがやみつきになりました。小銭が入ると小さなアパートを借り、そこで狂ったように作品を作りました。二〇〇以上もあるという多くの画廊へ手にかかえきれないほど作品をはこび、買ってもらうとしようとしたが、どこも断わられ、やっぱり道路にならべたりして売りました。頭はチョンマゲになり私のまわりにはいつも五、六人の人がおりました。フランス人、ベトナム人、オランダ人、アラブ人とやっぱり金のない芸術家でした。それでも私が一番収入があったのでこれらの人達と一緒に生活が出来ました。この間に多くの日本人にも会い「君そんなことばかりしてはもう一生涯日本に帰れない身になりますよ」と言われました。

私が他の芸術家と違っていたことはほとんどの人達は売絵のためにパリを描き、なんとなく芸術家らしいツァーリスト用の芸術家になっていました。私は一番変わったア



マルモ国立博物館に置かれた“自由の鳥”の前で（左）スウェーデンでは太陽が本当に貴重、一年のほとんども氷河に囲まれる

ブストラックの絵を描き、日本の歌もわからないのに日本語で「ウエオムイテアルコオ」などをくりかえしておりました。フランス人はとくにこんな私にもいやがる顔を見せず小銭のチップをめぐんだのです。私は数カ月後にはすっかりバリになじみ又同時にバリを去りたい思いでいっぱいでした。仲間の芸術家を残し一人イギリスに向かいました。ロンドン、ハイデンパークではバリのようにならず私のまわりは人の山でしたが、その日の内にポリスにつかまりここでは無断でハブニングしたり、絵を描いたり、踊ったりしてはだめだと言われここを追われました。何日も何日も歩きエジンバラの方に来たことが思い出されます。デュッセルドルフ、ハンノラバ、ベルリンとドイツはどこにいてもポリスが私を追い出しこのような大道芸人、道路画家は人が集まることで許されませんでした。オランダ、ロッテルダムに着いた時に招待されたダニエル・ゴオルデンのアトリエを無料で借りました。国立ロッテルダム・アカデミーは教室はあたえられたが今までの旅の印象が強く、学校で絵を描くという状態にはなかなかいきませんでした。ダニエルのアトリエに沢山のキャンバスと絵具が運ばれ私は何日も何日も作品を描きつづけました。その年一九六四年第一回の個展が十二月ロッテルダム美術館ホール画廊04で開催、この個展を機に日本人で初めて（ここ二〇年間ヨーロッパで）一〇〇をこえる個展開催になりました。

一九七二年日動画廊は一〇年ぶりの日本帰国に渋谷東急文化会館の全館に三八〇点という私の作品を展示、絵画ブームの年なのに故長谷川仁社長は一点の作品も売ろうとせず、再び中島由夫をヨーロッパの旅に出しました。マルモ国立博物館は私のスウェーデン二〇年を記念し「自由の鳥」のモニメントを永久所蔵として二年八カ月、八トンの御影黒石で完成させました。今年はまだ妻の生まれた地神戸でさんちかギャラリーと海天堂画廊の個展があり日本へ帰国しました。いつかは神戸にアトリエを作るのが夢でもあります。

●神戸YMCAの誕生

神戸YMCAは、米国人宣教師D・C・グリーンが一八七四年に設立した神戸教会が基盤となっています。彼の果たした役割には文化的要素が大きく、多くの日本人に異文化に融れる場を与えようとなりました。そのひとつの手段として英語教育があったわけですが、もちろん背後にはキリスト教の伝道の意図があり、その中から学校教育、女子教育、幼児教育、社会教育など様々の種がまかれています。

その後一八八六年五月、会長に原田助をたて、神戸基督教徒青年会が発会、同六月神戸英語学会の設立にいたり、現在のYMCAへと実を結んでいるのです。

●インターナショナルな

環境のもとで：

現在YMCAは世界89カ国、日本国内では31都市、98カ所に及び「青年をキリストへ」のスローガンのもとに精神性の高い生き方を求めて力を尽くしています。世界各地によって、そのスタイルはいろいろあり、いくつかの形態に分かれています。日本の特徴は進学教育が他諸国に比べて発展している点でしょう。中・高校の補助教育や予備校があげられます。これなどは日本の教育システムの問題から派生したプログラムですが、



阪崎健治朗氏

神戸YMCA創立100周年
記念事務局長

神戸YMCA 創立100周年

——第二世紀への船出——

みんなのものがひとつとなるために

●神戸YMCA創立100周年記念事務局長 阪崎健治朗氏に聞く

青年教育のひとつと考えています。

キャンプ活動もYMCAの大きな特徴ですが、活動を通じて野外における教育理念を実践しています。特に神戸YMCAは日本における野外活動、キャンプでも先駆的な役割を果たし既に50年以上の伝統をもっています。自然の中で過ごすことによって、参加する子供たち、そしてキャンプに携わっている人々にも、よりよい教育が与えられると考えています。



20年目を迎えたシアトル神戸ユースチェンジ

会員の層も0歳から80歳代まで幅広く、神戸の土地柄のためでしょうか、外人の方の占める割合も随分大きいですね。各種の行事の際にも参加されて日本人の方との交流も多いようです。その意味では自然に国際性が身につくといってもいいでしょう。

●第二世紀へ向けて—今後の展開
私たちの運動が100年間続けられた意味を考えてみますと、人が人



神戸YMCA創立100周年記念プログラム

● 創立100周年記念日礼拝と講演会

5月8日(木) 18時半 会場：神戸YMCA

1部：礼拝

2部：特別記念講演「輝ける星の如く」
竹中正夫氏（同志社大学神学部教授）

● ハンドベルフェスティバル

6月21日(土) 14時 会場：川崎製鉄西山記念館

出演：神戸YMCAハンドベルクワイア・

母と子のグループ・ちとせ幼稚園母の会グループ

入場料：無料

● 兄弟関係YMCA友好会議

10月4日(土) 9時半 会場：神戸国際会議場

創立100周年記念式典及びレセプション

★記念式典「音と映像で綴る100年」

10月4日(土) 15時 会場：神戸国際会議場

★感謝レセプション

10月4日(土) 16時45分会場：神戸ポートピアホテル

● 平和への讃歌～講演と音楽の夕べ～

10月25日(土) 18時半

会場：神戸文化大ホール

第1部：講演「平和への挑戦」黒柳徹子

第2部：音楽会「平和への讃歌」

独唱・東敦子

演奏 神戸フィルハーモニック

合唱 神戸中央合唱団

指揮 朝比奈千足

中村仁策

入場料：2,000円（中学生以上）

● 平和ってなんだ

～音楽会と作文発表会～

10月25日(土) 18時 会場：神戸文化ホール

対象：幼児・小学生とご家族

入場料：500円

● 神戸国際青年平和会議

11月22日(土)～25日(火)

会場：神戸国際会議場及び神戸YMCA

テーマ：「平和への挑戦」～かけがえのない命を守るために～



東 敦子



朝比奈千足

を呼ぶことによって100年の輪を作ってきたように思います。
YMCAは企業ではありませんから、会員の方や一般社会の欲求に応じてプログラムが作られます。そして参加者の増えることにより定着していきます。その結果続いているプログラムが英語教育であり、キャンプであり、体育活動であるでしょう。つまり俗にいう「人垣」のようなものがあつたからこそ、現在のYMCAがあるのではないのでしょうか。

100年を迎え、新たに今後の方向を考えてみますと、まず第一に教育。いじめや実力格差の問題が続く中、教育のあり方について提言する研究を進めなければならぬでしょう。また生涯学習のためプログラム開発を考えていきたいですね。

二つめは福祉。今までの福祉認識は老人や身障者等に対するイメージが強かったが、最近では全ての人に福祉が必要な時代になってきているようです。新しい対応の

方法も必要でしょう。

そして健康問題。身体的な健康と心の健康とを、同次元で考えていくプログラムを創り出そうとしています。私たちはこれを「ウェルネス」と呼んでいます。

最後に国際。我々の心の中にある国際性をいかに開発していくか、という点で交流、理解教育協力等さまざまな形で創り出そうとしています。

■神戸YMCA / 神戸市中央区加納町2-1-15 電話(078)241-7201